

豪雨日本西日

被災家屋がれき撤去

御崎で
土砂崩れ
玉野高サッカー部員

西日本豪雨で土砂崩れが起こった御崎で20日、玉野高のサッカー部員が、崩れた家屋の

がれきを撤去する奉仕活動をした。

1、2年生24人が参加。長靴を履いて軍手をはめ、全壊した空き家付近に散乱した柱や

屋根瓦、家具などを次々と運び出した。たんすやベッド、ブロック塀など1人では運べない物については声を掛

け合い、連携して運搬。砂ぼこりが舞う中、汗だくになって作業した。

御崎では山の一部が崩れ、いずれも空き家の2棟が全壊、別の2棟が一部損壊した。

崩れ、いずれも空き家の2棟が全壊、別の2棟が一部損壊した。御崎連合自治会の西尾幸則会長(77)は「地の助けは大変ありがたい」と感謝した。

(近藤哲也)



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。